三世代交流グラウンドゴルフに参加して

四福小　三年　小田　祥聖

グラウンドゴルフは、お年寄りがにぎやかにしてるのを、見たことがありますが、僕がやるのははじめてでした。

グラウンドゴルフは、昭和五十七年に鳥取県で考えられたそうです。クラブ、ボール、ホールポスト、スタートマットを使ってゴルフのようにボールを打ちます。実さいにやってみると、自分がおもっているようにボールがホールポストに行きませんでしたとてもくやしかったです。でも、一打でホールポストの近くに行ったり二打でホールインしたりしたのでうれしかったです。

いっしょにした人たちにいろいろ教えてもらい、グラウンドゴルフはじめてでしたが、とても楽しかったです。またやってみたいです。

四福小　三年　財前　光

わたしは、三世代交流グラウンドゴルフにさんかしました。さい初はひさしぶりなのでうまく打つことができなくて、かまえ方もわかりませんでしたが知り合いのおじさんに教えてもらい真っ直ぐに打つことができました。でも地面はでこぼこで球のスピードが落ちてゴールの手前までで止まってしまいました。みじかいコースでは、強く打ちすぎたのかゴールをこえてべつのコースに入ってしまい、わたしは、調せつすると真っ直ぐ打つのがむずかしいなと思いました。

一番上手に打てたのがゴールのところのさくに当たってはね返りおしくも二度目に入ったことです。はらはらしながら球を見ていたときはね返ったとき三センチずれてたらと思いましたが、でもそのとき入っていたらとび上がるほどうれしかったと思いました。

あと一周しかったとも思いました。その後のビンゴ大会はドキドキしながら当たるかなと思いながら数字を聞いていました。その後リーチまでいったけれどその後ビンゴでいったらずでも思い出が一つふえました。

お知らせ

三世代ふれあいウォーキング開催のご案内　小雨決行

日時　令和3年3月27日(土)　四福小学校9:00集合、9:30出発

●コース／水島りんかい鉄道沿線回遊（往復 約5㎞）、昼食にはタコ飯・お茶を準備します。

運動会で変わった自分

四福小　六年三組　梶田あかり

運動会で組体操をしないと聞いて、とてもがっかりしました。そして、今年は表現でダンスをするとなった時、今までの五年間でやってきたことと同じだととてもがっかりしました。そして、始まった練習は、もちろん楽しくありませんでした。私はずっとはずかしさをもっていました。そんな中、六年生の先生はどの先生も共通して、今年の運動会は特別だと言っていました。「素を出すことが大事。気持ちを一つにして。」など、一つ一つの言葉の意味に気付き、私がもっていたにせもののプライドを、先生たちの言葉が私の本物のプライドに変えてくれました。それからの私は、声をそろえるところはのどがはじけ飛びそうなほど声を出し、心を一つにすることをがんばりました。先生たちの言葉は、私にとって、無敵の太陽でした。

御礼とごあいさつ

第四福田小学校
校長　野添　公彰

四月に本校に赴任して、一年が過ぎようとしています。これまでにない状況の中、児童はもちろん、保護者の方、学校に協力してくださる皆様には、我慢と御苦労を強いることになってしまった日々でした。

四福小の児童はとても素直です。日常は、学習をしっかりがんばり、運動に励み、友だちとしっかり交流しています。素直というのは「いい子」という意味ではありません。時にはぶつかるし、時には、だだをこねることもあります。それも素直なのです。きちんと納得すれば、次の活動に一生懸命に参加できる、そんなすばらしい姿に学校はあふれています。

この姿は、学校だけでは育ちません。しっかりした保護者の姿があり、地域の支えがあってこそ育つものです。登下校の見守り、読み聞かせ、環境整備のボランティアなど多くの活動で御支援をいただいています。

本年度、地域の行事は少なかったことは残念ですが、その分、日常の温かさに触れることができた一年ではなかったでしょうか。

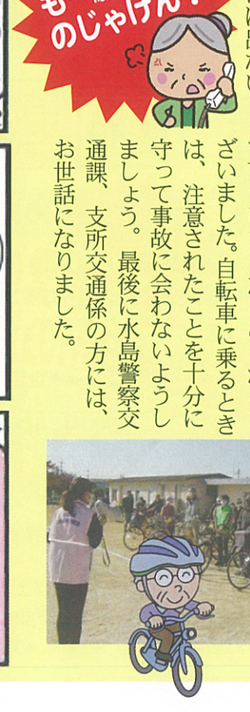
「肝心なことは目に見えない」と言われます。日々こつこつと学校をお支えくださっている学区の皆様には、この紙面をお借りして御礼申し上げます。今後とも御支援をお願いいたします。

交通安全教室と特殊詐欺被害防止に参加して

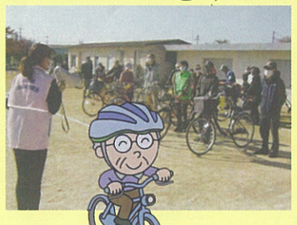
兼信　紀秋

四福地区社会福祉協議会令和二年度最初の活動が、十一月十四日（土）四福小学校グラウンドでコロナ禍の中六〇名の参加があり、三密対策（マスク・検温・消毒）を行い開催されました。

まず、水島警察署生活安全課藤原係長より、特殊詐欺被害防止の講話では、昨年岡山県下で被害件数七十六件、被害額四億二千万円、主に高齢者が被害に遭っているという話がありました。事例として電話で警察と言われ、お金やキャッシュカードの話が出たら詐欺ではないかと疑い、身近な人に相談してほしいということでした。電話には、留守電機能が付いていれば在宅中でも留守電にして知らない番号には出ないようにしてほしいということです。特殊詐欺防止のクイズで勉強になりました。



交通安全教室では、水島警察署交通課三橋課長ほかによる高齢者の事故防止及び自転車の実技指導がありました。令和元年度の岡山県下の交通事故による死亡者数は七十五人、その内高齢者三十四人、四五％以上と多く水島署も同じ傾向になっているということです。**道路を横断する時は、横断歩道を利用、左右を確認をする。夜間、早朝に外出する時は、明るい色の服装、LEDライト、夜光反射材等を活用する。**自転車走行時の注意事項について説明と実際に自転車に乗ってルールを学ぶ体験をしました。設定されたコースを走行すると、左右、後方確認不足や踏切は自転車を降りて歩いて渡るなど意外と間違いや知らないことが多くありました。また、『かもいヤマハ販売』の鴨井さんが自転車の安全点検を行って下さいました。ありがとうございました。自転車に乗るときは、注意されたことを十分に守って事故に会わないようしましょう。最後に水島警察交通課、支所交通係の方には、お世話になりました。



スローガン

地域社会福祉は
地域の人で

ふれあい四福

四福地区社会福祉協議会 第16号
発行所
倉敷市四福地区
社会福祉協議会
発行責任者 佐藤光輝

コロナ禍の中、地域で活動を考えて参加を促しつながりを絶やさない。

ごあいさつ

四福社会福祉協議会
会長　佐藤　光輝

皆様　日頃より四福地区社会福祉協議会の事業並びに活動に対して、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨今の少子化や高齢化の時代、又、本年度はコロナ禍により生活環境の変化による不安が多くこれからの地域・社会の活動にも大きな影響、生活に不安を持たれている方も、少なくないのではないでしょうか。

令和二年度の行事が、コロナ禍の影響により、総会においては書面にての表決、上半期は活動を自粛させていただき、楽しみにされていた皆様には大変申し訳なく思っています。そんななか行政とも連携を取り下半期から一部開催することができました。開催にあたっては、三密対策を行なって致しました。

そして地域の催し事に参加する子供たちを増やすためには、知恵や経験などを豊富に持つ高齢者の皆様のお力添えが必要です。

今後とも皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域の中でのつながりが、一番の防災！

地域の皆様には、平素より倉敷市社会福祉協議会の活動にご理解、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

平成三十年七月豪雨災害では、真備町や広江地区など、市内の様々な場所で甚大な被害が出ました。しかし、その経験を教訓に四福地区では地区社協と関係団体が協働し、防災講演会の開催や自主防災組織の充実に向けた検討が進められています。

昨今では新型コロナウイルスが猛威を振るっており、これも一つの災害と言えます。慣れない自粛生活や新しい生活様式が求められる中で、改めて地域のつながりの大切さを実感している人も少なくありません。

災害発生時は、日頃の備えと「人と人」、「人と情報」、「人と支援」などのつながりが大切になります。私たち生活支援コーディネーターは、つなぐ専門職として、地域の中でつながりが途切れないよう、今後も元気な地域づくりに取り組んでまいります。

倉敷市社会福祉協議会
地域福祉課
生活支援コーディネーター
阪本　渉太

コロナ禍の中、栄町にこにこサロン夏、秋再開。

「栄町にこにこサロン」は

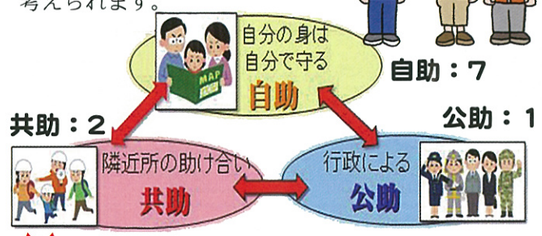
毎週木曜日に百歳体操、第三木曜日はサロン活動を行なっていましたが、コロナの影響で三月・四月と休みました。五月の連休明けから自主解除となり五月の百歳体操から再開しました。再開にあたり、三密を避ける、アルコール消毒、マスク着用、体温測定という事で、皆さんに協力して頂き、集会所では玄関や窓を開け換気扇を廻し、イスはその都度消毒をし、間隔もできる限りとりました。百歳体操は口の体操もあり、マスクをしているとやりづらいのですが、皆さん辛抱して頑張ってくれました。六月はサロン活動で「ゴキブリダンゴ」を作りました。昨年しているので、手際よく短い時間で出来ました。この後、例年であれば各自好きな物とお菓子を頂きながら話に花が咲くのですが、今年は残念ながら出来ませんでした。それでも活動する中で、皆さんと会える事を喜んで夏から秋へと続けていましたが、感染が県内市内でも広がり十二月より三月迄、今年度は中止になりました。元気で安心して再開できるよう願っています。

幹事　金原　恵子

みんなで取り組む
防災ガイド

『自分たちのまちは自分たちで守る』

災害の規模が大きいほど、救援活動をする行政機関も被災する可能性が高いのです。
公的機関(消防車など)は、道路の破壊や現地へ到着できないことも考えられます。



平常時

災害に備えるため日頃から活動します。

- ●地域の安全点検
- ●防災知識の普及・啓発
- ●防災訓練・避難訓練

災害時

災害時に人命を守り被害の拡大を防ぐための行動をします。

- ●救助・救出
- ●初期消化
- ●安全な避難誘導
- ●避難所の運営
- ●情報の収集・伝達

防災活動

- ●防災啓発
- ●防災訓練
- ●研修
- ●図上の訓練

			M8. 3	
			M7. 9	106年
			M8. 6	102年
1[illegible]2月(江戸末期)	玉水	南海地震		
(翌日)	安政	南海地震	M8. 4	147年
	安政	南海地震	M8. 4	
1944年12月(昭和19年)	昭和	東南海地震	M7. 9	90年
1946年12月(昭和21年)	昭和	南海地震	M8. 0	92年
2036年　(令和17年)				90年

※2036年で90年になる、大地震の発生確率が高まる！！
(倉敷では、3mの大津波到達の予想)
震度6強、津波3m(2時間30分で到達)の可能性があります。

お知らせ

四福地区社会福祉協議会

まごころ弁当
3月11日（木）

お一人暮らしで70才以上の方々に毎年友愛訪問をさせて頂いておりますが、今年度も下記の通り訪問を兼ねて「まごころ弁当」をお届けします。民生委員、愛育委員、町内会役員の皆様が同伴させていただきます。